



福島県立梁川高等学校

平成30年4月5日

校長通信

Team Yanagawa

vol.21

■ さまざまの事おもひ出す桜かな (松尾芭蕉)

4月に入り例年になく暖かい日が続いています。3日の梁川の気温は25度を超えました。春めく陽気の中、校舎のある鶴ヶ岡の桜も満開になりました。桜が開花した知らせを聴くと、私は高台寺の枝垂れ桜を思い出します。長男が小学生だった頃、家族で京都に出かけた折に見た美しさは、今でも忘れられません。高台寺は豊臣秀吉の正室北の政所が夫の菩提を弔うために建てた臨済宗の寺院です。方丈前庭には白砂が敷き詰められており、枯山水の一隅に枝垂れ桜が一本、薄紅色の花を枝一杯に咲かせていました。その姿は北の政所の凜とした生き方に通じるのではないかと。そんな感慨を憶えた旅からもう十年が経過しました。桜にまつわる思い出の一つです。



方丈前庭に立つ枝垂れ桜

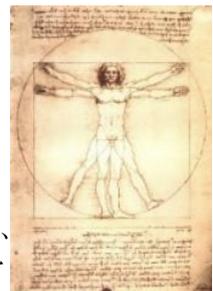
■ 平成30年度がスタートしました

4月2日、平成30年度がスタートしました。今回の人事異動に伴い、遠藤健教頭先生をはじめ9名の先生方をお迎えしました。この一年あらたな体制で教職員が一丸となって教育活動を展開し、学校経営・運営ビジョンの具現化を図ってまいりたいと思います。1回目の職員会議において、私からは次の4点に留意しながら校務を進めるよう先生方をお願いしました。

①教員間で積極的にコミュニケーションを取り主任を中心にチームワークよく仕事を進めること。②分掌間で連携を図り円滑な校務の遂行に努めること。③生徒の実態に応じたより効果的な教育活動を展開すること。④生徒一人ひとりに寄り添う指導を実践すること。

いよいよ9日は始業式、10日は入学式になります。在校生の元気な姿と新入生の希望に満ちた表情を見るのが楽しみです。

ところで、先日最終回を迎えたNHKスペシャル「人体」を見た方も多いのではないのでしょうか。これまでの人体のイメージでは、脳が全体の司令塔となり、他の臓器はそれに従うというものでしたが、最新の科学では体中の臓器が互いに直接情報をやりとりすることで、私たちの体は成り立っているという事実が明らかになってきたことを紹介する内容でした。特に驚いたのは、あらゆる臓器がメッセージ物質を出し合い、他の臓器と直接会話する情報ネットワークの存在でした。また、体内のネットワークでメッセージ物質を運ぶ情報回線の役割を果たす血液のすべてを取り仕切る司令塔が腎臓であるという事実でした。テレビを見ながら人体と学校組織も同じではないかと思ひ至りました。学校では教員同士が直接情報を交換するネットワークが不可欠であり、情報交換が円滑に行われる職場環境を整えることが、司令塔としての校長の役割であることを再認識しました。「臓器同士の会話」同様、「教員同士の会話」を活発にし、生徒に対する学習指導、生活指導、進路指導をさらに充実させたいと考えています。



生徒勤労働員を体験された同窓生の方にお話を伺いました。

4月4日、梁川高等女学校を昭和20年度に卒業した5名の同窓生の方々に会いしてきました。昭和17年4月に入学した皆さんは、昭和19年10月に生徒勤労働員で神奈川県川崎市の古河鑄造株式会社に配属となり、昭和20年4月の川崎大空襲を体験しました。今回の依頼を快諾されてお集まりいただき、勤労働員の苦労や学校生活についてお話を伺いました。創立百周年に向けて同窓生の足跡を記録し、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝える作業に取り組みたいと考えています。「勤労働員で苦楽を共にした級友との絆は生涯変わることはありません」という佐藤ヨシ子さんの言葉が心に強く残っています。今回はご協力いただき本当にありがとうございました。

《ご協力いただいた方々》

左から鈴木マサエさん、橋内ツマさん

佐藤ヨシ子さん、齋藤光子さん、丹野良子さん



合格者オリエンテーションが行われました



3月27日、合格者オリエンテーションが行われ、42名の合格者が保護者の方々と共に来校しました。当日は教頭より学校の概要を説明した後、教務部、生徒指導部、保健室、事務部、1学年主任より話がありました。また、新入生係より入学式当日の日程や提出物、教科書購入、芸術選択科目の確認など連絡がありました。合格者と保護者の皆様には、梁川高校の教育方針を理解していただき、有意義な高校生活が送れるようご協力をお願いしたいと思います。待ちに待った入学式が近づいています。



真剣に話を聴く合格者と保護者の皆さん

離任式が行われました

3月29日、離任式が行われました。平成30年度の人事異動に伴い、今回は11名の先生方を送ることになり、私から離任される先生方を紹介しました。次に先生方からそれぞれ挨拶をいただきましたが、先生方の梁高生への愛情と梁川高校への愛着がそれぞれ感じられるお話に心打たれました。生徒会の花束贈呈後、先生方は体育館中央につくられた花道を通り退出されましたが、先生方と別れを惜しむ生徒達の姿が印象的でした。また体育館後方には、お世話になった恩師に別れの挨拶をするため、卒業生も大勢詰めかけました。梁高で共に仕事をした先生方との別れは淋しいものがありますが、新天地での先生方の活躍を心より願っています。またどこかでお会いできることを楽しみにしています。



体育館で行われた離任式で別れを告げる先生方と生徒達

紙吹雪の中の旅立ち ～離任される先生方を見送りました～

3月30日は平成29年度の最終日でした。この日は離任される先生方の最後の勤務日であり、仕事を終えお帰りになる先生方を紙吹雪で見送りました。この習慣がいつ頃から始まったのかは定かではありませんが、本校のアットホームな職場の雰囲気がよく表れています。また、先生方の様子を見ると、お互いに心が通い合っていたことが伝わってきました。私も仲間に入れてもらい、紙吹雪を受け取って旅立つ先生方に向けて紙吹雪を撒き、別れを告げました。



紙吹雪が舞う中、玄関を出る先生方

野球部がいわき遠征に行ってきました



3月24・25日の両日、野球部がいわきに遠征し、川俣高校と連合チームを組み練習試合を行ってきました。一日目は磐城農業・四倉・好間高校連合チームと対戦し22対5で勝利しました。二日目は磐城高専と対戦し4対19で敗れました。いろいろな収穫と課題があった遠征でした。春季県北支部予選は川俣高校と連合チームを組むことになっています。日頃の練習の成果を発揮し、チームワークよく試合に臨んで欲しいと思います。梁高球児のこの一年の飛躍を期待しています。

掲示板

4月4日まで正面玄関には転入された先生方をお迎えするボードが設置されていました。表示にあるように「ようこそ梁川高校へ」。教職員一同、皆さんを大歓迎します。そして「**チーム梁川**」の一員として生徒のために共に頑張りましょう。



あとがき

4月5日は二十四節気の清明にあたります。清明とは「清浄明潔」の略で「万物ここに至りて皆潔斎にして清明なり」という意味があり、すべてのものが清らかで生き生きとする季節を表した言葉です。若葉が萌え、花が咲き、鳥が歌い舞う、生命に輝く季節の到来を心ゆくまで楽しみたいと思います。